

【今週の注目疾患】

伝染性紅斑

2015年18週の県全体の定点当たり報告数は、14週以降連続して増加し1.52となった。

保健所別定点当たり報告数は、長生(3.00)、松戸(2.94)、夷隅(2.67)、海匝(2.50)、市原(1.83)、千葉市(1.71)、習志野(1.60)が多い。

2015年18週に報告された185例の性別は、男性92例(49.7%)、女性93例(50.3%)で、年齢群別では、4～8歳が123例で66.5%を占めていた。

<参考>

国立感染症研究所ホームページ「伝染性紅斑とは」に疫学、臨床症状などの記載がある。この感染症の注意すべきものとして、妊婦感染による胎児の異常(胎児水腫)および流産があることが報告されている。

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>

